

令和4年度

第3年次編入学  
学生募集要項

新潟大学工学部

## 新潟大学工学部第3年次編入学日程

	推薦による選抜	学力試験による選抜
出願期間 ※郵送のみ	5月17日(月)～ 5月19日(水) (必着)	6月21日(月)～ 6月23日(水) (必着)
受験票発送	5月26日(水)	6月30日(水)
学力検査等	6月9日(水)	7月10日(土)
合格発表	6月25日(金)	7月30日(金)
入学手続	令和4年2月15日(火)・16日(水)	
入学式	令和4年4月4日(月) (予定)	

### 不測の事態等が発生した場合の諸連絡

不測の事態等により、本募集要項の内容に変更が生じた場合には、以下のホームページ等により周知しますので、出願前や受験前は特に注意願います。  
新潟大学工学部ホームページ <https://www.eng.niigata-u.ac.jp/>

### 新潟大学志願者への入学検定料免除について

新潟大学では、災害等の被災者の経済的負担を軽減し、進学機会の確保を図るため、入学検定料免除の特別措置を行います。

免除の対象となる災害及び被災地域など、免除に関する詳細については、新潟大学ホームページの「受験生特設サイト」をご覧ください。

受験生特設サイト <https://www.niigata-u.ac.jp/examinee/>

この募集要項の内容や、出願等について不明な点があるときは、下記に問い合わせてください。

#### 【問い合わせ先】

新潟大学工学部学務係

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町 8050 番地

電話 (025) 262-6709 FAX (025) 262-7010

メール [gakumu@eng.niigata-u.ac.jp](mailto:gakumu@eng.niigata-u.ac.jp)

### 【出願書類の請求について】

本募集要項には、以下の出願書類は含まれていません。

- ・ 志願票・受験票・写真票
- ・ 推薦書（推薦による入学者の選抜用）
- ・ 検定料納付用紙
- ・ 出願書類等提出用封筒
- ・ 「編入学受験票等在中」返信用封筒
- ・ 「編入学合格通知書在中」返信用封筒
- ・ 「推薦学校長あて通知書在中」返信用封筒（推薦による入学者の選抜用）
- ・ 「編入学入学手続案内等在中」返信用封筒

出願の際は、以下を参照し、出願書類を資料請求してください。

#### ■新潟大学 資料請求のページ

<https://www.niigata-u.ac.jp/admissions/request/>

（請求資料名）

- ・ 第3年次編入学出願書類（工学部）推薦による入学者の選抜
- ・ 第3年次編入学出願書類（工学部）学力試験による入学者の選抜

なお、「推薦による入学者の選抜」と「学力試験による入学者の選抜」の両方に出願する場合は、それぞれ封筒を分けて郵送してください。

## 新潟大学工学部第3年次編入学試験の受験を希望する方へ

新潟大学工学部第3年次編入学試験では、TOEIC L&R あるいは TOEFL の成績証明書の提出を課します。

出願時に、成績証明書の原本を併せて提出してください。

「推薦による入学者の選抜」出願希望者  
(テスト実施日が平成30年5月20日から令和3年5月19日までのもの)  
「学力による入学者の選抜」出願希望者  
(テスト実施日が平成30年6月24日から令和3年6月23日までのもの)  
※提出された成績証明書の原本は、受験票とともに返送します。

出願時に提出できない場合は、理由書(様式任意)を出願時に提出のうえ、成績証明書の原本は試験当日までに出願書類提出先へ提出してください。

(期限までに提出されない場合は、失格となります。)

※成績証明書の再発行が必要な場合は、各試験実施事務局等へお問い合わせください。

※TOEIC L&R あるいは TOEFL の成績証明書については、出願書類等の欄(推薦による選抜にあっては4ページ、学力試験による選抜にあっては9ページ)を参照してください。

## 目 次

I	工学部入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）等	1
II	募集人員	3
III	入学者の選抜方法	3
IV	推薦による入学者の選抜	
1	出願資格	3
2	出願期間	3
3	出願手続	3
4	選抜方法	6
5	試験期日及び場所	6
6	合格者の発表等	6
V	学力試験による入学者の選抜	
1	出願資格	8
2	出願期間	9
3	出願手続	9
4	選抜方法	11
5	試験期日及び時間割	12
6	試験場	12
7	合格者の発表等	12
VI	障がい等を有する入学志願者の事前相談	13
VII	注意事項	
1	出願書類の作成及び提出上の注意事項	13
2	受験に際しての注意事項	14
VIII	入学手続等	16
IX	修学条件等	16
X	入試情報の開示	17
XI	入学者選抜に用いた個人情報の取扱い	17
XII	学生寮について	17
	令和3年度 工学部第3年次編入学試験実施状況	18

# I 工学部入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）等

## 教育理念・目標

新潟大学工学部では、次のような素養を身につけた優秀な技術者・研究者を育成することを目標としています。

- ・ものづくりをたいせつにする心
- ・豊かな創造力と柔軟な思考力
- ・自主性と高い倫理観に支えられた実践力

その実現のために、本学工学部では、工学の基礎をしっかりと学んだうえで、先端技術の開発に対応できる応用力を身につけることが可能な仕組みを準備しています。

また、実践教育やキャリア教育を体験できる教育プログラムを設けているので、体験を通して自分の可能性を伸ばす業種を探することができます。

## 教育内容・特色

工学部附属の「工学力教育センター」と共同で、質が高く特色ある教育を展開しています。

- 自主的なものづくりプロジェクトを通じてものづくりの魅力や楽しさに触れ、「つくる力」と「学ぶ力」（この二つを合わせて「工学力」と呼んでいます）を習得するための教育を行っています。
- 「知識の応用力」を効果的に身につけさせることを目的に、失敗を経験しながら新たな工学技術や研究開発へと導く教育を一年次から実施しています。
- 企業等と連携した実践的工学キャリア教育を行っています。
- 学生のチームが研究や技術開発に関する活動を行い、相互に啓発できる場「スマート・ドミトリー」プログラムを実施し、国際的に活躍できる秀でた学生「トップ・グラジュエイツ」を育成する教育を行っています。一年次から参加でき、高い研究能力が身につきます。
- 従来の専門教育に加え、実践英語コース及び国際教養プログラムの提供や段階的海外留学の機会を設け、大学教育のグローバル化を推進しています。
- 国際的に認定された教育プログラム（JABEE 認定プログラム）や学部段階からの国際交流により、国際的に通用する高いレベルの学力が得られます。
- 高等学校や高等専門学校等でのさまざまな履修形態に配慮しつつ、大学院と教育・研究に関して強い連携を図り、毎年、多数の卒業生が大学院に進学しています。また、主専攻プログラムごとの就職指導によって不況にも強い就職実績を上げています。

## 求める学生像

教育理念・目標にあげた三つの素養を身につけた技術者・研究者を目指す学生の入学を歓迎します。具体的には、次に示す各主専攻プログラムの工学分野に関する基礎的知識と学力、さらに専門性を高めたいという強い目的意識、自発的に学習する意欲と行動力、ならびに英語によるコミュニケーション能力を評価します。

機械システム工学プログラム：機械工学

社会基盤工学プログラム：社会基盤工学

電子情報通信プログラム：電気エネルギー，電子デバイス，光エレクトロニクス，  
通信システムからなる電子情報通信工学

知能情報システムプログラム：情報工学

化学システム工学プログラム（応用化学コース）：応用化学

化学システム工学プログラム（化学工学コース）：化学工学

材料科学プログラム：材料物性，材料開発からなる材料科学

建築学プログラム：建築材料・構造学，建築環境工学，建築意匠・計画学，  
都市計画学，都市法学

人間支援感性科学プログラム：生体医工学，支援技術（福祉工学），芸術工学，  
健康・スポーツ科学からなる人間支援感性科学，  
音楽音響創造学

協創経営プログラム：総合エンジニアリング

## II 募集人員

学科	主専攻プログラム	募集人員
工学科	機械システム工学プログラム 社会基盤工学プログラム 電子情報通信プログラム 知能情報システムプログラム 化学システム工学プログラム (応用化学コース・化学工学コース) 材料科学プログラム 建築学プログラム 人間支援感性科学プログラム 協創経営プログラム	合計 20 人  ※「推薦による入学者の選抜」と「学力試験による入学者の選抜」を合わせた募集人員

## III 入学者の選抜方法

入学者の選抜は、「推薦による入学者の選抜」と「学力試験による入学者の選抜」の2つの方法で行います。

## IV 推薦による入学者の選抜

### 1 出願資格

次の各号に該当する者で、学校長が責任を持って推薦するものとします。

- (1) 高等専門学校又は短期大学を令和4年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 合格した場合は、入学することを確約できる者

### 2 出願期間

令和3年5月17日(月)から5月19日(水)まで(必着)とします。

出願書類の提出は、書留速達による郵送に限ります。

### 3 出願手続

#### (1) 出願方法

志願者は、(3)の出願書類等を取りそろえ、指定封筒「第3年次編入学願書在中」を使用して、(2)の出願書類等提出先に「書留速達」で郵送してください。

#### (2) 出願書類等提出先

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町 8050 番地  
新潟大学工学部学務係  
電話 (025) 262-6709



(3) 出願書類等

出 願 書 類 等	摘 要
① 編入学（推薦） 志願票 受験票 写真票	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所定用紙を使用してください。</li> <li>・ 「<b>検定料納付証明書（新潟大学提出用）</b>」（※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。）を所定欄に確実に貼ってください。</li> <li>・ 受験票及び写真票の所定欄に写真を貼ってください。（縦4 cm × 横3 cm, 上半身・無帽・正面向きで、出願前3か月以内に撮影したもの。受験時に眼鏡を使用する者は、眼鏡をかけて撮影してください。）</li> </ul>
② 卒業見込証明書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出身学校長が作成し、厳封したもの。 （成績証明書に記載してある場合は、省略可）</li> </ul>
③ 推薦書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所定用紙により出身学校長が作成し、厳封したもの。</li> </ul>
④ 成績証明書 （又は調査書）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出身学校長が作成し、厳封したもの。</li> </ul>
⑤ TOEIC L&R, TOEFL の成績証明書の原本 （テスト実施日が出願書類提出期限から3年以内のものに限る）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ TOEIC L&amp;R (TOEIC-IP (団体特別受験制度) を含む。) の場合は、Official Score Certificate (公式認定証) 又は Score Report を提出してください。</li> <li>・ TOEFL の場合は、ETS 発行の Test Taker Score Report 又は Examinee Score Report (オリジナルとします。なお、返却を希望する場合は、その旨明記してください。) を提出してください。(iBT (Home Edition 含む), 改訂版 TOEFL ペーパー版テスト (The revised TOEFL Paper-delivered Test) のいずれでも構いません。)</li> <li>もしくは TOEFL ITP の Score Report のオリジナルを提出してください。</li> <li>・ 出願時にスコアを提出できない場合は、理由書(様式任意)を出願時に提出のうえ、試験当日までに出願書類提出先に提出してください。期限までに提出されない場合は、失格となります。</li> </ul>
⑥ 検定料納付証明書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所定の「<b>振込依頼書（新潟大学工学部第3年次編入学試験（推薦）検定料）</b>・<b>振込金及び手数料領収書（志願者保存）</b>・<b>検定料納付証明書（新潟大学提出用）</b>」に必要事項を記入し、以下の点に留意のうえ、切り離さずに最寄りの金融機関（ゆうちょ銀行を除く。）に持参し、窓口で検定料30,000円を振り込んでください。その後、入学志願票の所定欄に検定料納付証明書（新潟大学提出用）を貼ってください。</li> <li>なお、振込手数料は、志願者本人の負担となります。</li> <li>① 依頼人氏名欄は、必ず志願者本人の氏名を記入してください。</li> <li>② 検定料の振り込みは、令和3年5月10日（月）から5月19日（水）〔15時00分〕までの期間内に必ず行ってください。 （※土・日曜日の振り込みはできません。）</li> <li>③ ATM（現金自動預払機）での振り込みはできません。</li> </ul>

<p>⑦ 返信用封筒 4枚</p> <p>（編入学受験票等在中 編入学合格通知書在中 編入学入学手続案内等在中 推薦学校長あて通知書在中）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所定の返信用封筒4枚を提出してください。</li> <li>・「編入学受験票等在中」, 「編入学合格通知書在中」及び「編入学入学手続案内等在中」の封筒の表にはそれぞれ志願者の郵便番号・住所・氏名を記入してください。</li> <li>・「推薦学校長あて通知書在中」の封筒の表には出身学校の郵便番号・住所・学校名を記入してください。</li> <li>・「編入学受験票等在中」の封筒のみ郵便切手384円分を貼ってください。</li> </ul>
<p>（該当者のみ提出）</p> <p>⑧ 在留カードの写し 又はパスポートの写し</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国籍を有する者は、在留カードの写し（表裏両面）又はパスポートの写し（顔写真ページおよび在留資格が記載されているページ）を提出してください。</li> </ul>
<p>（人間支援感性科学プログラムの美術分野、音楽分野及び健康・スポーツ分野で受験する者のみ提出）</p> <p>⑨ 右記記載の資料</p> <p>※ 出願時に提出のあった作品等は返却しません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間支援感性科学プログラムの美術分野で受験する者は、資料として、本人が制作した美術作品について、次の2つの資料を提出してください。（本人が過去3年以内に作品を制作したことを推薦学校長が証明する書類（様式は任意）を、厳封のうえ添付してください。） <ul style="list-style-type: none"> <li>① 作品の概要書 作品の概要、制作意図を記した書類（A4用紙1枚以内。様式は任意とします。）</li> <li>② 作品資料 造形作品の場合は写真（立体作品では多方向から撮影したもの）・設計図などの資料、映像作品の場合は映像データ（映像データの記録媒体は、ファイナライズ処理されたDVD-R又はブルーレイディスク1枚とします。）</li> </ul> </li> <li>※上記の本人が制作した美術作品は、面接時に持参することができます。ただし、面接時に持参可能な作品は2点以内とし、教室内に自力かつ短時間で搬入できる大きさ・重量とします。（高さ2m、幅1mのドアから搬入可能なもの。）</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間支援感性科学プログラムの音楽分野で受験する者は、資料として、本人による演奏を記録した映像データ又は本人が作曲した音楽作品を提出してください。（本人が過去3年以内に演奏又は作曲したことを推薦学校長が証明する書類（様式は任意）を、厳封のうえ添付してください。） <ul style="list-style-type: none"> <li>① 本人による演奏を記録した映像データ（記録媒体は、ファイナライズ処理されたDVD-R又はブルーレイディスク1枚とします。）</li> <li>② 本人が作曲した音楽作品 次の2つのうち、いずれか1つを提出してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 スコア（パート譜は不要です。）</li> <li>2 オーディオ・ファイル（記録媒体は、ファイナライズ処理されたDVD-R又はブルーレイディスク1枚とし、オーディオ形式は任意とします。）</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間支援感性科学プログラムの健康・スポーツ分野で受験する者は、資料として、各種大会の参加、公式記録、入賞を証明するもの（参加証、記録認定証、賞状、新聞、雑誌等）を提出してください。（写しで可）（各種大会の参加、公式記録、入賞が過去5年以内かつ本人のものであることを推薦学校長が証明する書類（様式は任意）を、厳封のうえ添付してください。）</li> </ul>

#### 4 選抜方法

- (1) 入学者の選抜は、面接試験（基礎学力に関する試問を含む。）、TOEIC L&R あるいは TOEFL の成績証明書及び出願書類により行います。入学者選抜の判定は、当該試験等の結果を総合して行います。

各プログラムの基礎学力に関する試問の詳細については、(2)のとおりです。

#### (2) 基礎学力に関する試問

主専攻プログラム	出題科目（基礎的な学力を問う）
機械システム工学プログラム	専門科目（材料力学，工業力学から1科目選択及び流体力学，熱力学から1科目選択）
社会基盤工学プログラム	専門科目（応用力学，コンクリート工学，地盤工学，水理学）
電子情報通信プログラム	数学（微分積分，線形代数），専門科目（電気回路，電磁気学）
知能情報システムプログラム	数学
化学システム工学プログラム（応用化学コース）	化学（無機化学，分析化学，物理化学，有機化学，高分子化学）
化学システム工学プログラム（化学工学コース）	化学工学，物理化学
材料科学プログラム	物理学基礎，化学基礎から1科目選択
建築学プログラム	専門科目（建築材料・構造，建築環境工学，建築計画）
人間支援感性科学プログラム	数学，美術，音楽，健康・スポーツから1分野選択 ※美術，音楽，健康・スポーツで受験する者は，要資料提出（「3 出願手続」の「(3)出願書類等」の⑨を参照）
協創経営プログラム	数学

(注1) 化学システム工学プログラム志願者は，出願時に「応用化学コース」か「化学工学コース」を選択してください。

(注2) 人間支援感性科学プログラム志願者は，出願時に口頭試問の受験分野を選択してください。

基礎学力に関する試問の過去問題（出題概要，出題意図）を新潟大学工学部ホームページ（<https://www.eng.niigata-u.ac.jp/admission/>）で公開しています。

#### 5 試験期日及び場所

期 日	区 分	時 間	試 験 場
6月9日（水）	面接試験	午前9時～	新潟大学工学部

#### 6 合格者の発表等

令和3年6月25日（金）午前10時に，合格者の受験番号を下記合格発表サイトに掲載します。

なお，推薦学校長あてに選考結果を速達で通知し，合格者には「合格通知書」を送付します。

合格発表サイト <https://daigaku.jc.jp/niigata-u/>

(注1) 合格発表サイトへの掲載は，情報提供の一環として行うものですので，必ず選考結果及び合格通知書で確認してください。

(注2) 合格発表日の合格発表サイトへのアクセスについては、回線が大変混み合い、接続に時間がかかることが予想されますので、あらかじめご了承ください。

電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。

## V 学力試験による入学者の選抜

### 1 出願資格

次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 学士の学位を有する者及び令和4年3月31日までに取得見込みの者
- (2) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）附則第7条に定める従前の規定による学校の課程を修了し、又はこれらの学校を卒業した者
- (3) 短期大学を卒業した者及び令和4年3月31日までに卒業見込みの者
- (4) 高等専門学校を卒業した者及び令和4年3月31日までに卒業見込みの者
- (5) 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時数が1,700時間以上であること）を修了した者及び令和4年3月31日までに修了見込みの者（ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る。）
- (6) 高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部（以下「高等学校等」という。）の専攻科の課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者及び令和4年3月31日までに修了見込みの者（ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る。）
- (7) 修業年限4年以上の大学において、2年次修了以上の学力があると認められた者〔大学に2年以上在学（休学期間を除く。）し、62単位以上の単位を修得した者及び令和4年3月31日までに同要件を満たす見込みの者〕（出願時に本学に在学している者は、除く。）
- (8) 外国において、学校教育における14年以上の課程を修了し、大学の2年次修了以上の学力があると認められた者

（注1）出願資格(1)の学士の学位を有する者及び取得見込みの者には、我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び修了見込みの者を含みます。

（注2）出願資格(3)の短期大学を卒業した者及び卒業見込みの者には、外国の短期大学を卒業した者及び卒業見込みの者並びに外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を我が国において修了した者及び修了見込みの者（学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。）を含みます。

（注3）出願資格(7)の大学には、我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を含みます。

（注4）出願資格(8)によって出願する者は、出願資格の確認をする必要がありますので、出願書類に添付の《出願資格の確認について》の指示に従って、「新潟大学工学部第3年次編入学（学力試験）出願資格確認書」ほか必要書類を、令和3年6月14日（月）までに、出願書類等提出先に郵送又は持参してください。

## 2 出願期間

令和3年6月21日(月)から6月23日(水)まで(必着)とします。

出願書類の提出は、書留速達による郵送に限ります。

## 3 出願手続

### (1) 出願方法

志願者は、(3)の出願書類等を取りそろえ、指定封筒「第3年次編入学願書在中」を使用して、(2)の出願書類等提出先に「書留速達」で郵送してください。

### (2) 出願書類等提出先

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地

新潟大学工学部学務係

電話 (025) 262-6709

### (3) 出願書類等

出 願 書 類 等	摘 要
① 編入学(学力試験) 志願票 受験票 写真票	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 所定用紙を使用してください。</li><li>・ 「検定料納付証明書(新潟大学提出用)」(※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。)を所定欄に確実に貼ってください。</li><li>・ 受験票及び写真票の所定欄に写真を貼ってください。(縦4cm×横3cm, 上半身・無帽・正面向きで, 出願前3か月以内に撮影したもの。受験時に眼鏡を使用する者は, 眼鏡をかけて撮影してください。)</li></ul>
② 卒業・修了(見込) 証明書	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 出身学校長(学長・学部長)が作成し, 厳封したもの。</li><li>・ 出願資格(7)に該当する者は, 当該大学の学長(学部長・学校長)が作成した在学証明書又は在学期間証明書を提出してください。</li></ul>
③ 成績証明書 (又は調査書)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 出身学校長(学長・学部長)が作成し, 厳封したもの。</li><li>・ 出願資格(7)に該当する者は, 修得済みの科目についての成績証明書並びに履修中の科目がある場合は, 履修科目の一覧(修得予定の科目名及び単位数が記載されたもの。)を提出してください。</li></ul>
④ TOEIC L&R, TOEFL の成績証明書の原本 (テスト実施日が出 願書類提出期限から 3年以内のものに限 る)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ TOEIC L&amp;R (TOEIC-IP (団体特別受験制度)を含む。)の場合は, Official Score Certificate (公式認定証) 又は Score Report を提出してください。</li><li>・ TOEFL の場合は, ETS 発行の Test Taker Score Report 又は Examinee Score Report (オリジナルとします。なお, 返却を希望する場合は, その旨明記してください。)を提出してください。(iBT (Home Edition 含む), 改訂版 TOEFL ペーパー版テスト (The revised TOEFL Paper-delivered Test) のいずれでも構いません。)</li></ul> もしくは TOEFL ITP の Score Report のオリジナルを提出してく

	<p>ださい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出願時にスコアを提出できない場合は、理由書（様式任意）を出願時に提出のうえ、試験当日までに出願書類提出先に提出してください。期限までに提出されない場合は、失格となります。</li> </ul>
⑤ 検定料納付証明書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所定の「振込依頼書（新潟大学工学部第3年次編入学試験（学力試験）検定料）・振込金及び手数料領収書（志願者保存）・検定料納付証明書（新潟大学提出用）」に必要事項を記入し、以下の点に留意のうえ、切り離さずに最寄りの金融機関（ゆうちょ銀行を除く。）に持参し、窓口で検定料 30,000 円を振り込んでください。その後、入学志願票の所定欄に検定料納付証明書（新潟大学提出用）を貼って提出してください。</li> <li>なお、振込手数料は、志願者本人の負担となります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 依頼人氏名欄は、必ず志願者本人の氏名を記入してください。</li> <li>② 検定料の振り込みは、令和3年6月14日（月）から6月23日（水）[15時00分]までの期間内に必ず行ってください。 （※土・日曜日の振り込みはできません。）</li> <li>③ ATM（現金自動預払機）での振り込みはできません。</li> </ul> </li> </ul>
⑥ 返信用封筒 3枚  （編入学受験票等在中 編入学合格通知書在中 編入学入学手続案内等在中）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所定の返信用封筒3枚を提出してください。</li> <li>・「編入学受験票等在中」、「編入学合格通知書在中」及び「編入学入学手続案内等在中」の封筒の表にはそれぞれ志願者の郵便番号・住所・氏名を記入してください。</li> <li>・「編入学受験票等在中」の封筒のみ郵便切手384円分を貼ってください。</li> </ul>
（該当者のみ提出） ⑦ 在留カードの写し 又はパスポートの写し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国籍を有する者は、在留カードの写し（表裏両面）又はパスポートの写し（顔写真ページおよび在留資格が記載されているページ）を提出してください。</li> </ul>
（該当者のみ提出） ⑧ 出願資格を証明する書類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出願資格(5)に該当する者は、修了又は修了見込みの専修学校の専門課程が、文部科学大臣の定める基準（修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時数が1,700時間以上であることを満たすことを、出身学校長が証明する書類を厳封のうえ提出してください。</li> <li>・出願資格(6)に該当する者は、修了又は修了見込みの高等学校等の専攻科の課程が、修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすことを、出身学校長が証明する書類を厳封のうえ提出してください。</li> </ul>

#### 4 選抜方法

(1) 入学者の選抜は、学力試験（専門基礎科目）、TOEIC L&R あるいは TOEFL の成績証明書、面接試験及び出願書類により行います。入学者選抜の判定は、当該試験等の結果を総合して行います。

各プログラムの専門基礎科目の詳細については、(2)のとおりです。

(2) 学力試験科目（専門基礎科目）

主専攻プログラム	学力試験科目（専門基礎科目）
機械システム工学プログラム	材料力学，流体力学，工業力学，熱力学から3科目選択
社会基盤工学プログラム	応用力学，コンクリート工学，地盤工学，水理学
電子情報通信プログラム	数学（微分積分，線形代数），電気回路，電磁気学
知能情報システムプログラム	数学（微分積分，線形代数），プログラミング，論理回路
化学システム工学プログラム （応用化学コース）	化学（無機化学，分析化学，物理化学，有機化学，高分子化学）
化学システム工学プログラム （化学工学コース）	化学工学，物理化学
材料科学プログラム	物理学基礎，化学基礎から1科目選択
建築学プログラム	建築材料・構造，建築環境工学，建築計画
人間支援感性科学プログラム	数学（微分積分，線形代数），電気回路，プログラミング
協創経営プログラム	数学

(注) 化学システム工学プログラム志願者は、出願時に「応用化学コース」か「化学工学コース」を選択してください。

学力試験（専門基礎科目）の過去問題を新潟大学工学部ホームページ  
(<https://www.eng.niigata-u.ac.jp/admission/>) で公開しています。



## 5 試験期日及び時間割

試験期日等	7月10日(土)	
	学力試験	面接試験
主専攻プログラム	9:30～11:30	13:00～
機械システム工学プログラム 社会基盤工学プログラム 電子情報通信プログラム 知能情報システムプログラム 化学システム工学プログラム (応用化学コース・化学工学コース) 材料科学プログラム 建築学プログラム 人間支援感性科学プログラム 協創経営プログラム	専門基礎科目	面接

## 6 試験場

新潟大学工学部 (新潟市西区五十嵐2の町 8050 番地)

## 7 合格者の発表等

令和3年7月30日(金)午前10時に、新潟大学工学部学生玄関前において、合格者の受験番号を掲示により発表します。

なお、合格者には「合格通知書」を送付します。

また、合格発表後(正午頃)、合格者の受験番号を下記合格発表サイトに掲載します。

合格発表サイト <https://daigakuic.jp/niigata-u/>

(注1) 合格発表サイトへの掲載は、情報提供の一環として行うものですので、必ず選考結果及び合格通知書で確認してください。

(注2) 合格発表日の合格発表サイトへのアクセスについては、回線が大変混み合い、接続に時間がかかることが予想されますので、あらかじめご了承ください。

電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。

## VI 障がい等を有する入学志願者の事前相談

障がい等を有する入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、次により本学部と相談してください。必要な場合は、本学部において志願者及び関係者と面談を行います。

なお、相談の期限後に、受験上及び修学上の配慮を必要とすることとなった者は、(3)の連絡先に問い合わせてください。

### (1) 相談の期限

【推薦による入学者の選抜】令和3年5月10日(月)

【学力試験による入学者の選抜】令和3年6月14日(月)

ただし、事前の準備を必要とする場合がありますので、できるだけ早い時期に相談してください。

### (2) 相談の方法

申請書(医師の診断書等必要書類添付)を提出してください。

### (3) 連絡先・申請書請求先

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地  
新潟大学工学部学務係  
電話(025)262-6709

## VII 注意事項

### 1 出願書類の作成及び提出上の注意事項

- (1) 提出書類に記載の氏名は、戸籍(外国籍を有する者は住民票又はパスポート)に記載の文字を使用してください。
- (2) 提出書類に、記載事項の記入漏れや、その他不備のある場合は、出願書類を受理しないことがあります。
- (3) 出願書類提出後は、出願書類の返却及び「現住所(連絡先)」以外の記載事項の変更を認めません。
- (4) 検定料振込み後、出願期間内に提出しなかった場合は、当該検定料(30,000円)を返還します。詳細は、新潟大学ホームページの「受験生特設サイト」(<https://www.niigata-u.ac.jp/examinee/>)を参照してください。
- (5) 外国語により作成された書類には、日本語による訳文を添付してください。

## 2 受験に際しての注意事項

- (1) 「受験票」及び「受験案内」の発送日は、以下のとおりです。  
【推薦による入学者の選抜】令和3年5月26日（水）  
【学力試験による入学者の選抜】令和3年6月30日（水）  
なお、「受験票」は、入学手続の際にも必要となりますので、紛失、汚損等のないよう特に注意してください。
- (2) 筆記用具等は、黒鉛筆（黒シャープペンシルを含みます。）・鉛筆キャップ・鉛筆削り（電動式を除きます。）・消しゴムとします。これ以外は使用できません。
- (3) 時計の使用は、計時機能だけのものに限りです。辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいものは使用できません。アラームは使用できません。
- (4) その他、受験に際しての注意事項等については、受験票送付の際に同封する「受験案内」を熟読してください。
- (5) 不正行為
  - ① 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を命じられ、それ以後の受験はできなくなります。また、受験したすべての教科・科目の成績を無効とします。

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>(a) 志願票、受験票、写真票、解答用紙へ故意に虚偽の記入（受験票、写真票に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の受験番号を記入するなど。）をすること。</li><li>(b) カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。</li><li>(c) 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。</li><li>(d) 試験時間中に、問題冊子を試験室から持ち出すこと。</li><li>(e) 解答用紙を試験室から持ち出すこと。</li><li>(f) 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。</li><li>(g) 試験時間中に、スマートフォンや携帯電話、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。</li><li>(h) 試験時間中に、持ち込みを許可されたもの以外の補助具（定規、コンパス、電卓等）を使用すること。</li><li>(i) 「解答やめ。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。</li></ol> |
|--|

- ② 前記①以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、前記①と同様です。

- (a) 試験時間中に、持ち込みを許可されたもの以外の補助具（定規、コンパス、電卓等）及びスマートフォンや携帯電話、ウェアラブル端末等の電子機器類等をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
- (b) 試験時間中にスマートフォンや携帯電話、時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に多大な影響を与えること。
- (c) 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
- (d) 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- (e) 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- (f) その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

## VIII 入学手続等

- 1 入学手続の概要は、次のとおりです。その詳細については、合格者に別途通知します。
  - (1) 入学手続期間及び手続方法  
令和4年2月15日（火）から2月16日（水）まで（予定）（郵送）
  - (2) 入学料  
282,000円（予定額）
  - (3) 提出書類等
    - ・新潟大学工学部編入学受験票
    - ・誓約書、学生調書（本学所定用紙）
    - ・写真（縦4cm，横3cm）
    - ・講義概要（授業要項）※出身校の卒業証明書、学業成績証明書等は、入学手続後に提出していただきます。
- 2 出願資格で所定の要件を満たす見込みで受験した合格者が、令和4年3月31日までに所定の要件を満たすことができなかった場合は、入学を許可しません。
- 3 授業料  
年額 535,800円（前期分 267,900円，後期分 267,900円）〔予定額〕  
（注1）授業料は、入学後、口座引き落としにより納付していただく予定です。  
（注2）授業料の納付方法の詳細については、合格者に別途通知します。  
（注3）在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

入学料及び授業料については、免除及び徴収猶予の制度があります。詳細は、新潟大学ホームページの「受験生特設サイト」(<https://www.niigata-u.ac.jp/examinee/>)又は合格者に送付する「入学手続案内」を参照してください。

## IX 修学条件等

- 1 入学時期及び修学条件  
入学の時期は令和4年4月とします。  
入学後2年以上4年以内に新潟大学工学部規程に定める授業科目を履修し、卒業に必要な単位を修得した者には、学士（工学）の学位を授与します。
- 2 既修得単位の取扱い  
本学部に入學する前に在學した大學等において修得した単位については、本学部の定める基準に従って卒業要件単位として認定します。  
なお、卒業要件単位の認定結果によっては、2年間で卒業することが困難な場合があります。
- 3 在学期間の通算  
本学部の修業年限（4年）のうちの2年間は既に在学したものとして通算し、入学後における修業年限は2年、在学することができる年限は4年とします。

## X 入試情報の開示

本学部では、令和4年度第3年次編入学試験に関して、受験者本人からの郵便による請求のみに対して入試情報の開示を行います。請求の方法については、本学部ホームページ (<https://www.eng.niigata-u.ac.jp/admission/>) をご覧ください。

なお、請求にあたっては、「新潟大学工学部編入学受験票」が必要になりますので、紛失、汚損等のないよう、大切に保管しておいてください。

## XI 入学者選抜に用いた個人情報の取扱い

- 1 出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続、④入学者選抜方法等における調査・研究、分析及び⑤これらに付随する業務を行うために利用します。
- 2 入学者選抜に用いた試験成績の個人情報は、入学者選抜方法等における調査・研究、分析を行うために利用します。
- 3 出願に当たってお知らせいただいた個人情報及び入試成績は、合格者のみ入学後の①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、③授業料等に関する業務を行うために利用します。

なお、個人情報のうち、合格者の氏名及び住所については、本学の同窓会及び後援会からの連絡を行うために利用する場合があります。

## XII 学生寮について

本学の学生寮入寮者の募集案内については、令和3年12月に、新潟大学ホームページ (<https://www.niigata-u.ac.jp/>) に掲載する予定です。

なお、学生寮の概要については、大学ホームページの「受験生の方」→「アパート・学生寮」に掲載されています。

### 令和3年度 工学部第3年次編入学試験実施状況

募集人員	主専攻プログラム	区 分	志願者数	合格者数
合計 20 人	機械システム工学プログラム	推 薦	0	—
		学力試験	9	2
	社会基盤工学プログラム	推 薦	1	1
		学力試験	8	2
	電子情報通信プログラム	推 薦	3	3
		学力試験	34	3
	知能情報システムプログラム	推 薦	5	1
		学力試験	22	5
	化学システム工学プログラム (応用化学コース)	推 薦	0	—
		学力試験	2	1
	化学システム工学プログラム (化学工学コース)	推 薦	0	—
		学力試験	0	—
	材料科学プログラム	推 薦	0	—
		学力試験	2	0
	建築学プログラム	推 薦	5	1
		学力試験	14	3
	人間支援感性科学プログラム	推 薦	2	2
		学力試験	7	1
	協創経営プログラム	推 薦	1	1
		学力試験	8	5
合 計		推 薦	17	9
		学力試験	106	22

(注) 区分欄の「推薦」は「推薦による入学者の選抜」を示し、「学力試験」は「学力試験による入学者の選抜」を示す。